

オリジナル製品を作成する

eE-Formerでオリジナル製品の作成ができます。ベンチを作成してみましょう。



編集手順

① eE-Former起動

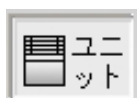
eE-Formerを起動します。

② 作成

好みの形を作成します。

③ オーセブンCADへ戻す

編集した製品をオーセブンCADへ戻します。



レイヤは「ユニット」



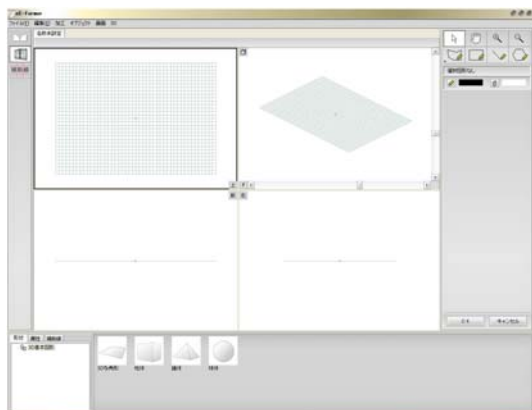
① eE-Former起動

eE-Formerを起動します。

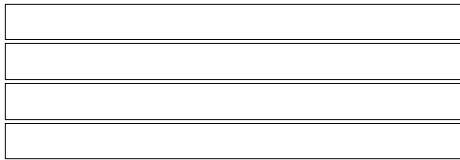
①-1：何も選択していない状態で「加工」メニューの「eE-Former」をクリックします。



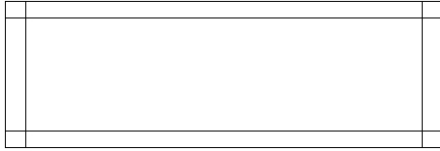
位置がずれた時は「Shiftキー」+「↑ → ↓ ←」で動かして調整しましょう。



eE-Formerが起動します。



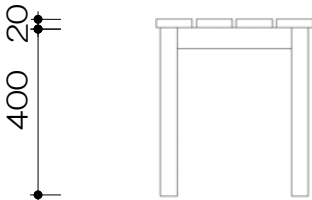
平面図（ベンチ座面）



平面図（脚）



立面図（正面）



立面図（側面）

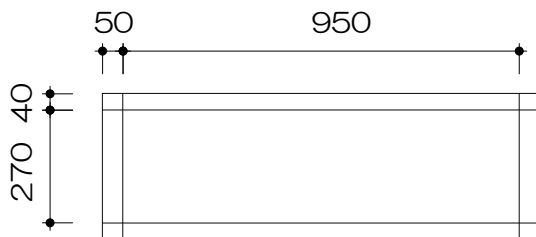
② 作成作業

オリジナルの製品を作成します。今回はベンチを作ってみましょう。

ベンチの平面図、立面図を良く見て作成する形をイメージしておきましょう。

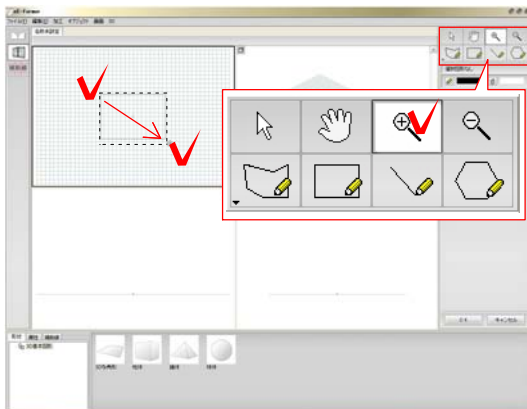


完成パース




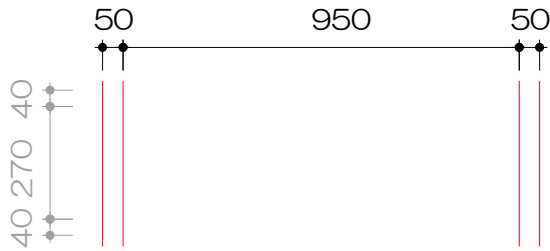
平面図（脚）

平面図を元にベンチの脚の補助線を描きます。

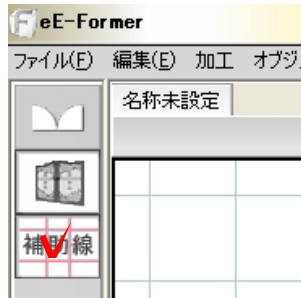


②-1：画面右上の「拡大ツール」をクリックし、4画面左の平面図を拡大します。

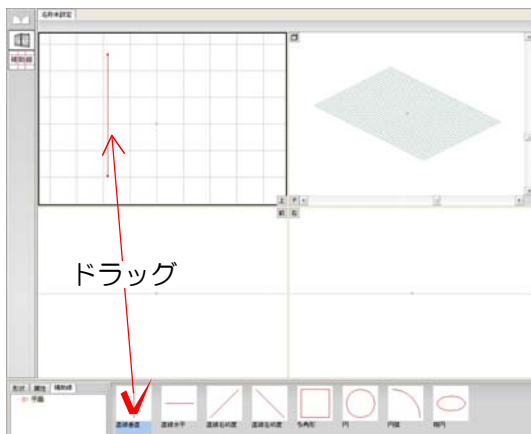
 拡大しておくこの後の作業がしやすくなります。



左図のように補助線を描きます。

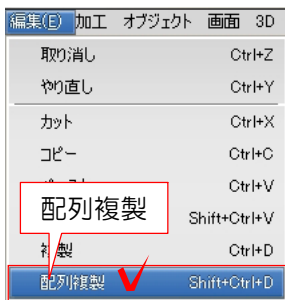


②-2：画面左上の「補助線」をクリックします。

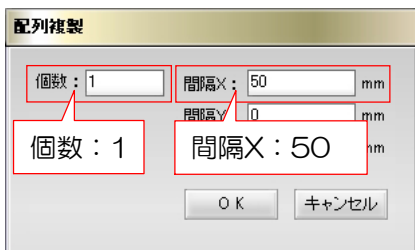


②-3：画面左下の一覧から「直線垂直」を「上」の画面ヘドラッグします。

縦の補助線が描けました。

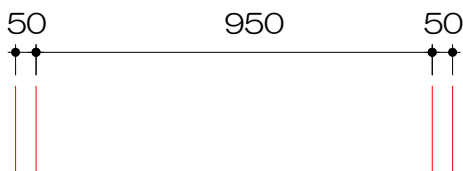


②-4：配置した補助線を選択し、「編集」メニューから「配列複製」をクリックします。

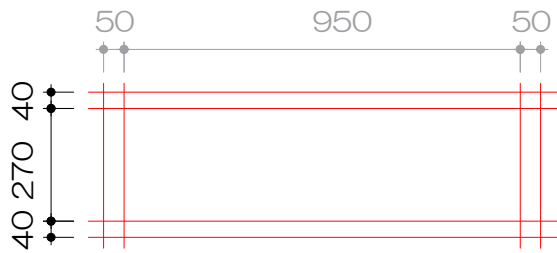


左図のように入力して「OK」をクリックします。

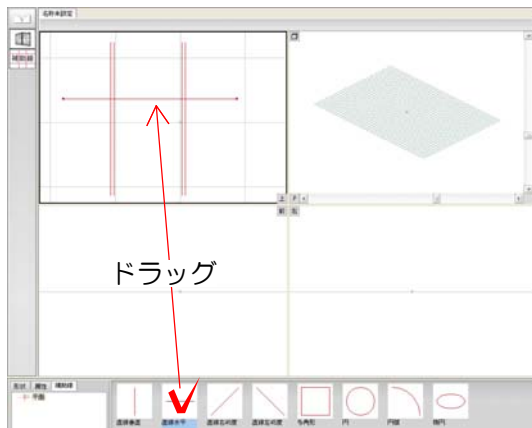
縦の補助線が2本描けました。



②-5：同様にあと2本補助線を配列複製します。

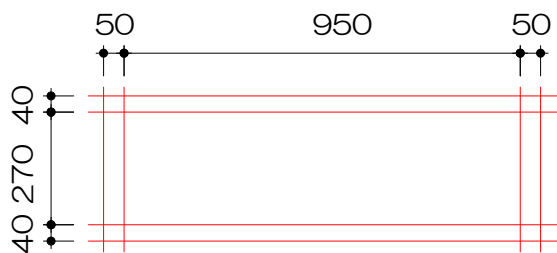


同様にして残り2つの補助線も描いてみましょう。



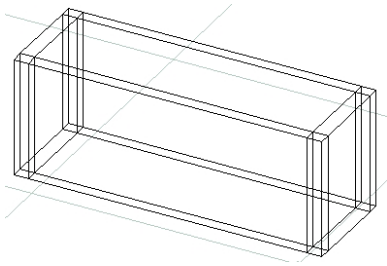
②-6：画面左下の一覧から「直線水平」を「上」の画面へドラッグします。

横の補助線が描けました。



②-7：配置した補助線を②-4同様に配列複製します。

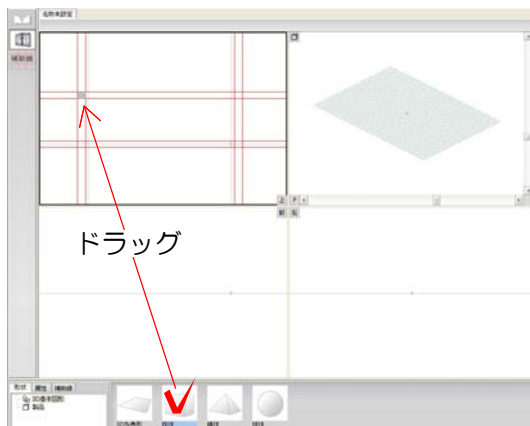
補助線が描けました。




3Dを設定し、ベンチの脚を作ります。

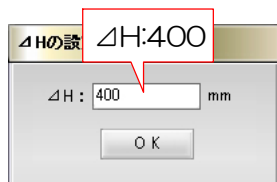


②-8：画面左上の「3D編集」をクリックします。

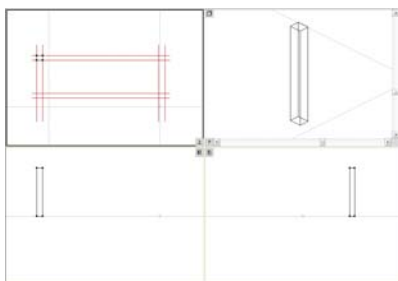


②-9：画面左下の一覧から「柱体」を「上」画面の補助線枠内へドラッグします。

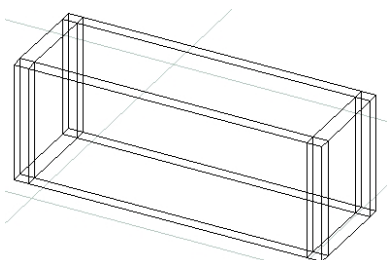
 グレーになった部分が柱体になります。



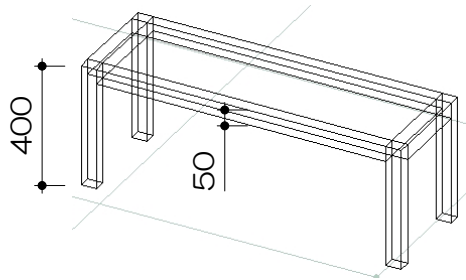
②-10：設定画面に柱体の高さを入力します。



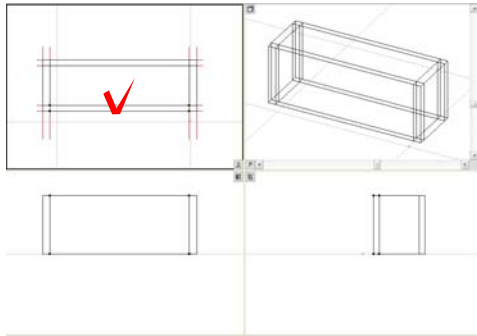
他の作業画面に柱体が表示されます。



②-11：同様に他の部分も作成します。



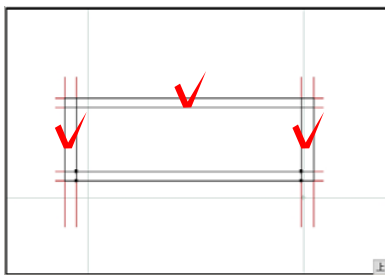
梁の高さを調整します。



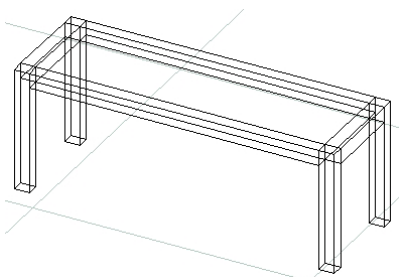
②-12：「上」画面で梁部分をクリックします。



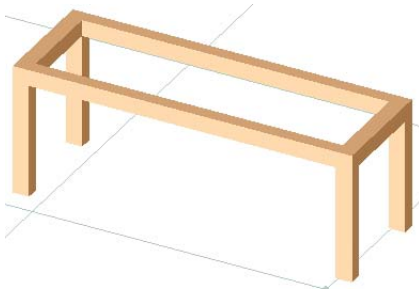
②-13：画面右端のデータパレットで左図のように数値を入力します。



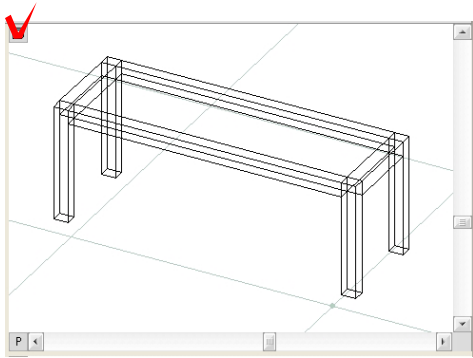
②-14：左図のように他3箇所も同じ設定にします。




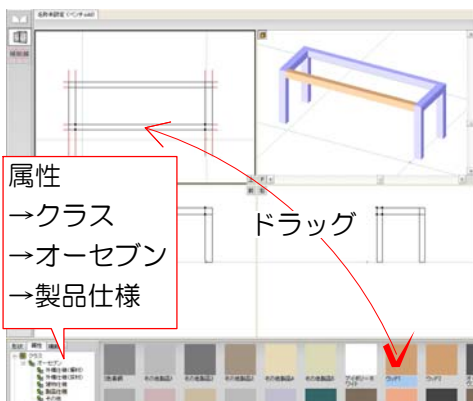
梁が調整されました。



図形に仕様を設定します。

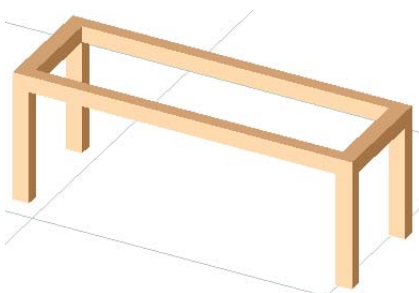


②-15：「P」画面上の  をクリックします。

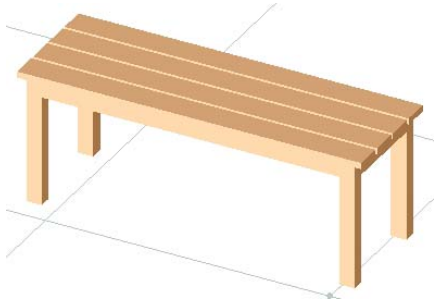


②-16：「上」画面で梁部分をクリックし、画面下の「属性」→「クラス」→「オーセブン」→「製品仕様」→「ウッド1」をドラッグします。

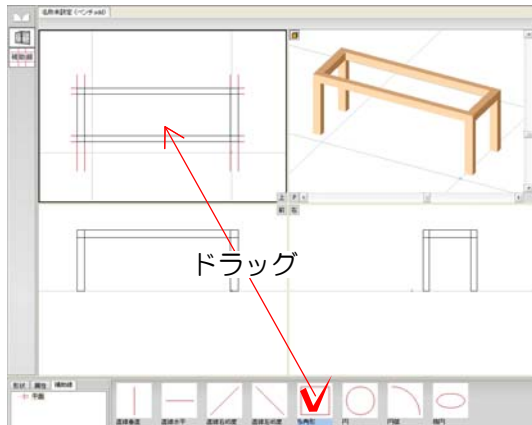
「P」画面の色が変わります。
他の図形も同様に仕様を設定します。



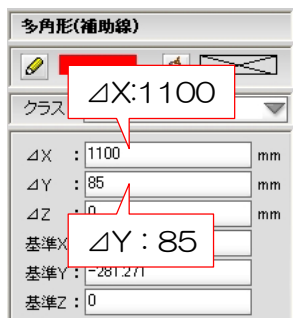
仕様が設定されました。



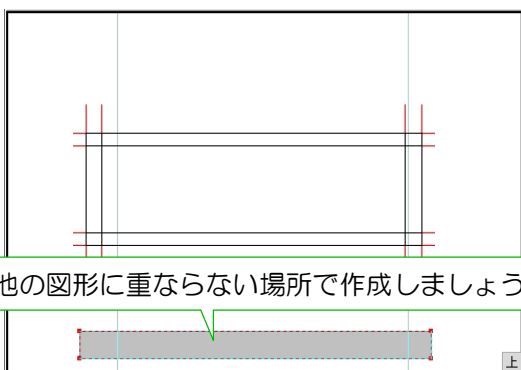
ベンチの座面を作成します。



②-17：画面左上の「補助線」をクリックし、画面左下一覧から「多角形」を「上」画面へドラッグします。



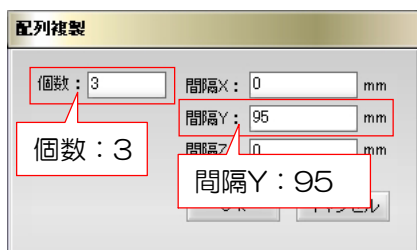
②-18：多角形補助線を左図のようにサイズ変更します。



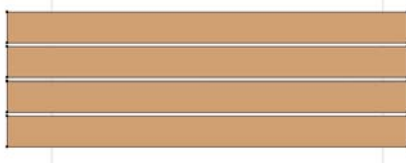
②-19：「3D編集」の「柱体」を補助線内にドラッグし、②-12～16の手順で下図のように設定します。



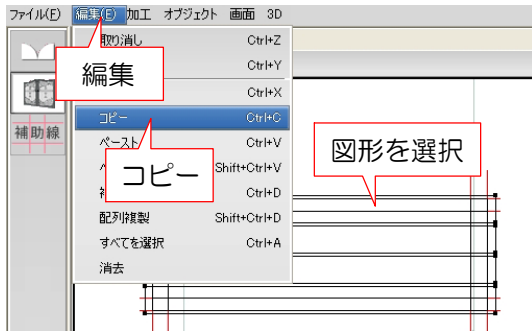
②-20：作成した図形を左図の設定で配列複製し、脚の上に配置します。



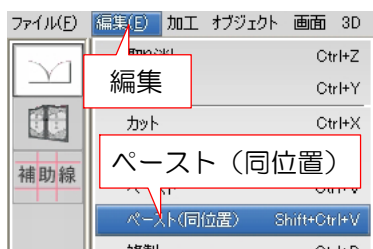
ベンチの形ができました。



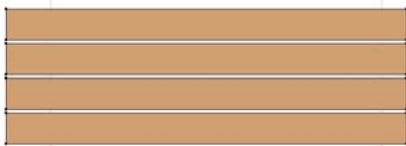
2D図形を作成します。



②-20：ベンチの座面の図形（4つ）を選択し、画面上「編集」→「コピー」をクリックします。

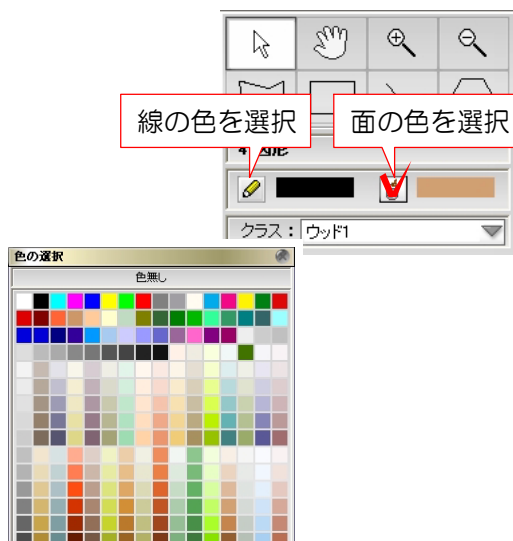


②-21：画面左上の「2D編集」をクリックし、「編集」→「ペースト（同位置）」をクリックします。




2D図形ができました。

💡【平面図の色を変更するには…】



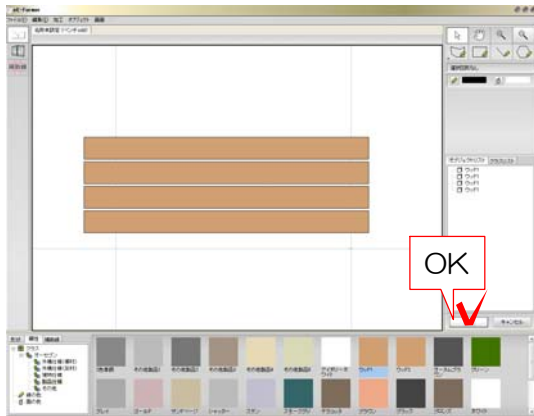
画面右上のデータパレットで をクリックし、カラーパレットから好きな色を選択します。

 線の色も同様に変更ができます。

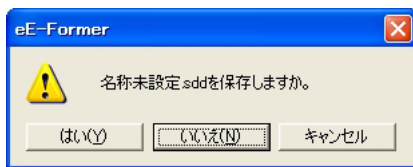
 元に戻したいときは「Ctrl」キー+「Z」で取り消しができます。



作成した図形をオーセブンCADへ配置します。



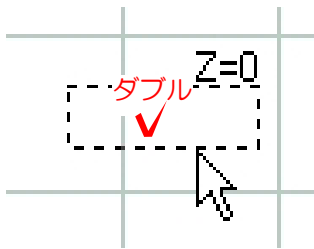
②-22：画面右下の「OK」をクリックします。



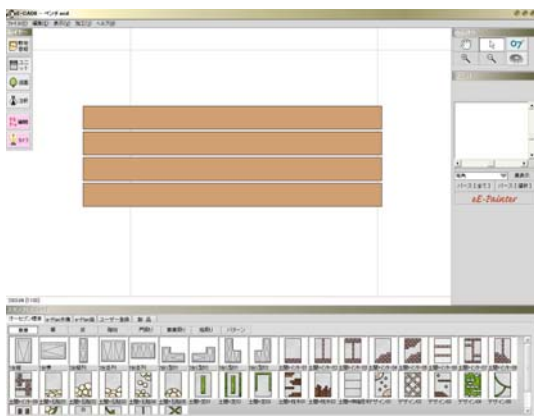
②-23：「いいえ」をクリックします。



外部データとして保存する場合は「はい」をクリックし、名前を付けて保存します。



②-23：カーソルの先に点線で図形の輪郭が表示されます。配置したい位置でダブルクリックすると画面上に配置されます。



作成したベンチが配置されました。